



はくあい

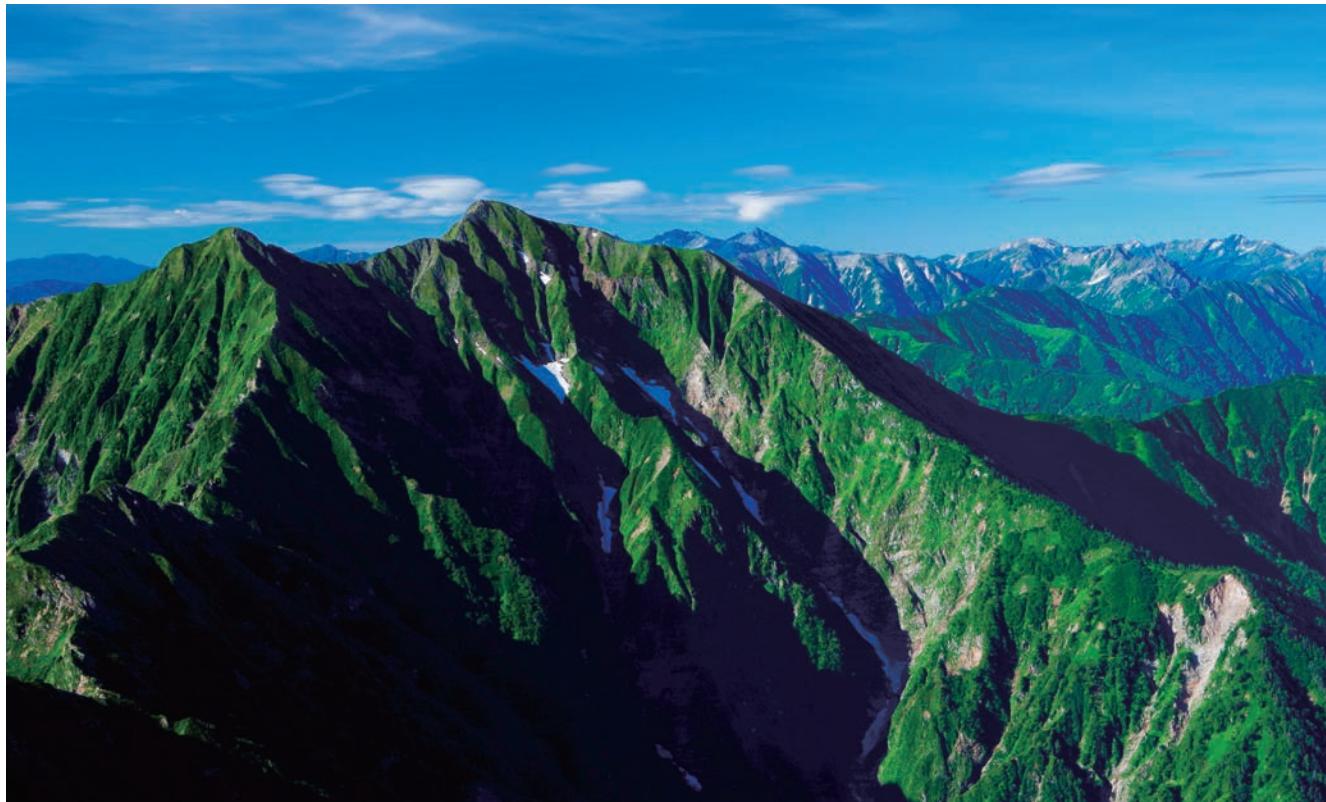
第46号

令和7年7月(年2回発行)

社会医療法人 博愛会 菅間記念病院

〒325-0046 那須塩原市大黒町2番5号
TEL: 0570-08-0733(代表)
URL: <https://www.hakuai.or.jp/>

菅間付属診療所	TEL: 0287-67-1570
菅間在宅診療所	TEL: 0287-73-5934
地域包括総合センター	TEL: 0287-62-3311
NASPA(フィットネス)	TEL: 0287-67-1577
那須看護専門学校	TEL: 0287-67-1188



「白馬鎧から鹿島槍の遠方に槍ヶ岳を臨む」撮影者 菅間 博

～病院理念～

1. 博愛と信頼
2. 地域と共に
3. 高度な医療

～患者憲章～

患者さまには、以下の権利と義務があります。

1. 思いやりのある医療を平等に受ける権利
2. 一人一人に最適な医療を受ける権利
3. 病状・治療の充分な説明を受ける権利
4. 他の医師や医療機関に相談する権利
5. 治療方針をみずから決定する権利
6. 個人情報や診療の秘密が守られる権利
7. 診療環境の秩序を守る義務

～基本方針～

1. 「いつでも」「どこでも」「だれでも」をモットーに、救急医療から在宅医療まで、包括的な医療サービスを提供します。
2. 近隣の医療保健施設と連携し、地域の医療レベルの向上、人々の健康の増進に貢献します。
3. 常に医療技術の研鑽に努めるとともに、人間性を高め、高度で人間味のあるチーム医療を展開します。
4. ヒトとモノの両面から体制整備に努め、安全で効率的な診療環境をつくります。
5. 健全で透明性の高い経営に努め、活力に満ちた病院機能を維持します。



Medical Village NASU な~す 第2回オープンヴィ

メディカルヴィレッジ那須



▲大人気！スーパーボールすくい
◀大成功で満面の笑みのスタッフ一同



▲キッチンカー
(ホスピタルメントナスパの入居者も
おやつのポテトを購入)



▲ホスピタルメントナスパから見た
まつり全体の様子



▲子どもの遊び場
(バルーンの剣をもって大はしゃぎ)

令和7年4月27日(日)に那須塩原駅前にある菅間付属診療所の駐車場内にて「第2回オープンヴィレッジ春まつり」を開催しました。当日は晴天に恵まれ、地域の皆様をはじめ100名を超える多くの方にご参加いただきました。

このまつりは、菅間付属診療所・那須看護専門学校・健康増進センターウェルネスナスパⅠ・住宅型有料老人ホームホスピタルメントナスパの4施設からなる「メディカルヴィレッジNASU」を地域の皆様に「知って」「活用して」いだきたいという思いで、村長である那須看護専門学校の屋代校長の発案で昨年から開催しております。

昨年は準備期間が短く、十分な告知ができなかったことを反省し、昨年末から打合せを重ねました。まつりの告知は、菅間記念病院や4施設のホームページのお知らせやSNS、自治会への回覧板の依頼や近隣の住宅地へのポスティング、ドラッグストア・量販店などへのポスター掲示を行いました。

当日は早朝からまつり運営委員と那須看護専門学校の学

生ボランティアが集合し、会場設営を行い、みんなで円陣を組み団結力を高めました。

軽快な音楽が流れる中、まつりが始まりました。血圧測定やロコモチェックを行う「健康チェック」、ウェルネスナスパで行われているスタジオプログラムの「モルック体験」、バルーンアートやスーパー球すくいの「子どもの縁日」、輪投げやトランポリンがある「子どもの遊び場」、焼きそばやお好み焼きがウリのキッチンカー「郷土料理じゃんご」があり、どのブースも子供から高齢者まで多くの人で賑わっていました。

前弥六自治会から依頼された「もしもに備える救命救急教室」では、まつりの来場者にも参加を募りました。講師は看護学校の伊藤先生が務め、看護部長や診療所の薄井師長、学生たちとともに「救急車の呼び方」や「AEDの使い方」についてわかりやすく説明。その後、実際にAEDを使った胸骨圧迫の実践が行われました。家族で協力する姿も見られ、子どもが人形に一生懸命胸骨圧迫を行う様子が

レッジ春まつりを行いました！



▲ ウォーキングのすゝめ
(真剣に聴いてくださりありがとうございます)



▲ AED 実践中
(妻が助けを呼び、夫と息子が駆けつけます)



▲ モルック体験
(フィンランド発祥の老若男女楽しめるスポーツです)



▲ 反省会
(第2回を振り返りつつ、第3回に向けた打合せです)



とても印象的でした。「施設見学ツアー」は4施設を巡り、案内するもので、参加者の中には県外からの高校生が看護学校の見学を目的に来てくれました。メディカルヴィレッジNASUを見て・知ってもらえたことはとても嬉しく感じました。

「公開講座」は、ウェルネスナスパⅠのマネージャーでまつり準備委員長の高根澤理学療法士が講師となり『ウォーキングのすゝめ』をテーマに、健康寿命を延ばす歩数などをお話ししました。ウォーキングで健康になろうと決意していただいたと思います。今これを読んでいる方も、ぜひナスパで一緒に健康を目指しましょう！

このように「第2回オープンヴィレッジ春まつり」は、大きな事故もなく、大成功で終えることができました。ご参加いただいた皆様、本当にありがとうございました。これからさらに発展していくメディカルヴィレッジNASUをよろしくお願ひいたします。

ホスピタルメントナスパ担当 高澤寛人



▲ まつりのポスター
(参加者の半数がこれをみて来てくださいました)

新任医師紹介


 こうの
河野 えみ子 医師


◆専門分野
消化器外科
◆出身地
宮城県黒川郡
大和町
◆趣味・特技
料理

4月から菅間記念病院に勤務しております、河野えみ子と申します。

消化器外科医として、これまで急性腹症や消化器癌に対する外科的治療に携わって参りました。患者様とご家族が安心して治療を受けられるよう、また地域の方々の支えになれるよう、努力して参ります。

半年間の短い期間ではありますが、どうぞよろしくお願い致します。



非常勤医師着任のお知らせ

(令和7年4月着任)

 やまがた くにひろ
山縣 邦弘 医師

腎臓内科

筑波大学 腎臓内科学 特任教授
(腎疾患重症化予防・スポーツ腎臓学講座)



山縣邦弘医師は慢性腎臓病における日本を代表する医師です。

原発性糸球体腎炎、糖尿病・高血圧・膠原病等による二次性腎疾患、多発性囊胞腎を含めた遺伝性腎疾患や、間質性腎炎など内科的腎疾患はもちろん、腎不全および透析患者における合併症など総合的に診療をしています。

筑波大学 山縣 邦弘医師 サイト


 たかなし しゅういちろう
高梨 秀一郎 医師

心臓血管外科

川崎心臓病センター長
榎原 記念病院 心臓血管外科 特任副院長



1984年愛媛大学卒業、兵庫医科大学での研修を経て、大阪市立総合医療センターで研鑽を積む。その後、新東京病院心臓血管外科部長、榎原記念病院心臓血管外科主任部長を務め、2019年より川崎幸病院副院長、川崎心臓病センター長心臓外科主任部長に就任。

冠動脈バイパス術、大動脈弁形成術、肥大型心筋症への手術でも世界に名を馳せ、後進の指導にも力を注いでいます。

高梨秀一郎医師 web サイト



医療関係者の皆様へ



上記非常勤医師の診察は不定期となります。

患者様のご紹介等につきましては地域医療連携室 (TEL 0287-62-15671567) までお問い合わせください。

職員用保育所が新体制になりました



この春、菅間保育所がリニューアルオープン！日々、地域の医療を支えてくださる菅間記念病院職員の皆様が、大切なお子さまを心から安心して預けられるよう…。そんな想いを込めて、2025年4月、保育所は新たな一步を踏み出しました。

開放的な空間と、ゆとりのある職員配置が魅力の菅間保育所。のびのび過ごせる広い保育室のほか、安全に遊べるテラスも完備され、近隣の散歩コースと併せて日常的に外気浴を楽しめるよう設計されています。自然光がたっぷり降り注ぐ明るい環境で、毎日子どもたちの笑顔と笑い声があふれている保育所です。

菅間保育所の歴史は古く、創立は1975年に遡ります。これまで長らく、病院で働く職員の皆様の子育ての受け皿として親しまれてきましたが、2025年4月より、全国で受託保育事業を展開する株式会社キッズコーポレーションが運営をすることになりました。

子ども主体の保育を通してお子様一人ひとりがさらに安全で心地よく過ごせる空間を提供しております。現在、当園では、月極・一時利用合わせて10名程度のお子さまをお預かりしています。小規模な環境だからこそ、一人ひとりにしっかりと目が届き、個々に合わせた丁寧な関わりが可能となっております。

私たちが大切にしているのは、キッズコーポレーションの理念である『KIDS FIRST～何より子どもが最優先～』という考え方です。子ども一人ひとりのありのままを受け止め、個々の「やりたい！」「たのしい！」という気持ちに寄り添う、子ども主体の保育を展開しています。

大人の都合に合わせるのではなく、その子自身のペースや個性に応じて関わり、的確に育ちを見守ること。それが私たちの目指す保育の形です。

私たちは、保育理念をもとにした4つの柱を保育方針として掲げています。

1. 個の尊重：一人ひとりを大切にする
2. 心の育成：愛・思いやりを育てる
3. 知の育成：考える力を育てる
4. 生きる力の育成：心身ともに優れた人を育てる

これらの柱はすべて、子ども一人ひとりの健やかな心身の発達を支えるために欠かせないもの。特に乳幼児期は、人としての土台を育む大切な時期です。私たちは、日々の生活や遊びを通して、自然と個々の成長を促していくような、そんな人的・物的環境づくりを心がけています。

保護者の皆様との連携も、私たちの大切な役割です。毎日の送迎時や、日々の連絡帳でのやり取りを通して、お子様のその日その日の様子や体調を共有し合っています。日常のささやかなワンシーンに見られるちょっとした成長や、小さな体調の変化も見逃さず、保護者の皆様と共に見守っていくことが私たちの何よりの喜びです。

医療の現場で、日々多忙な業務に取り組む職員の皆様の支えとなるよう、また、お子様一人ひとりの育ちに寄り添える存在であるよう、日々心を込めて保育にあたっています。これからも、菅間保育所が、お子様と働く保護者の皆様にとって、安心で心地よい居場所であり続けられるよう、職員一同、尽力してまいります。



暑さに負けない！ そうめん で ビビン麺



夏の代名詞であるそうめんですが、味にマンネリを感じていませんか？暑さに負けない夏バテ予防におススメなアレンジメニューを紹介いたします。

韓国風の味であるビビン麺、ピリッとした辛さが食欲をそそります。具材の豚肉【ビタミンB1・イミダゾールペプチド】、キムチ（ニンニク【アリシン】）に疲労回復効果が期待でき、唐辛子【カプサイシン】には食欲増進や発汗作用があります。

辛いのが苦手な方は、コチュジャンの代わりに梅肉や生姜を入れても美味しいです。ぜひ試してみてください。

作り方

- きゅうりは千切りにする。
- キムチは大きい場合は一口大に切る。
- 豚肉はサッと湯通しを行い、冷水で冷やして水気をきる。
- ボウルにタレ用調味料を混ぜておく。
- そうめんをパッケージの表記時間通りにゆでる。流水にさらし、よくもみ洗いする。
- 水気をきったそうめんとタレ、キムチを混ぜ合わせる。
- そうめんを器に盛りつけ、豚肉、きゅうり、温泉卵、のりをのせる。



4人前

材料

◎そうめん	300 g	◎コチュジャン	80g
◎豚ロース(しゃぶしゃぶ用)		(好みで調整)	
.....	300g	◎ごま油	大さじ6
◎キムチ	200g	◎酢	大さじ3
◎きゅうり	2本	◎しょう油	大さじ4
◎温泉卵	4個	◎砂糖	大さじ3
◎のり	適量	◎いりごま(白)	適量

タレ用調味料



第24回公開講座のお知らせ



▲恒例のスタッフによるストレッチコーナーも準備中です！

日程：令和7年10月11日（土）

場所：大正堂くろいそみるひいホール

講演者：獨協医科大学リハビリテーション科

主任教授 入澤 寛先生 他

入澤先生はリハビリテーション一般をはじめ、運動器・脊髄損傷・嚥下のリハビリテーション、義肢や装具を専門とされている先生です。

地域の皆様のご参加を心よりお待ちしております！
(入場無料)

部署紹介 那須医科学研究所



▲菅間所長と研究補助員

那須医科学研究所 (Nasu Institute of Medical Sciences: NIMS) は、博愛会が理念とする「高度な医療」の実現を、医科学研究の面からサポートすることを目的として、2023年（令和5年）4月1日に設置されました。那須医科学研究所の学術活動は医療法42条-2号に規定される医療法人の付帯業務にあたります。

現在の主な研究分野は病理学と遺伝子検査学で、菅間記念病院の臨床検査業務に還元しながら、研究活動を行っています。これまでコロナウイルスのPCRおよびゲノム解析、大腸癌等の遺伝子検査、臨床検査の精度管理（今年2月ISO15189認定取得）に貢献するとともに、学術報告しています。さらに、甲状腺がん診療の革新的な技術となる国内初の「甲状腺NGS遺伝子パネル検査 (ThyroGeneV2)」を開発し、全国の医療機関から遺伝子検査を受託する準備を進めています。



研究員（常勤）：菅間博（病理学）、内田厚（泌尿器学）
(非常勤)：矢澤華子、石井順

ThyroGene V2.0 NGS遺伝子パネル検査システム



2024年度の研究業績

/// 学術講演 ///

1. 第36回日本内分泌外科学会総会：「内分泌腫瘍の過剰診断・過剰治療を考える」
2. 第65回日本臨床細胞学会総会（春期大会）
3. 第11回日本甲状腺病理学会：「甲状腺腫瘍関連遺伝子を標的とした国産NGSパネル検査システム」
4. 第12回西東京臨床甲状腺研究会：「甲状腺腫瘍の組織分類と遺伝子変化—NGSパネル検査の臨床応用—」
5. 第67回日本甲状腺学会学術集会：「甲状腺腫瘍に特化した国産NGSパネル検査の開発」
6. 第28回日本臨床内分泌病理学会：「甲状腺」「Thyroid club with Sandwich」
7. JABTS：「甲状腺腫瘍関連遺伝子を標的とした国産NGSパネル検査システムを用いた穿刺吸引細胞診の遺伝子診断応用への試み」
8. 第63回日本臨床細胞学会（秋期大会）：「甲状腺癌取扱い規約第9版の改定による細胞診へのインパクト」
9. 第34回臨床内分泌代謝Update 臨床内分泌代謝入門(ABC)「甲状腺」：「甲状腺腫瘍の組織分類と遺伝子変化」

/// 雑誌・論文 ///

1. Y.NAKAZATO, K.HIRANO, T.MITSUMA, Y.ARIMASU, T.HIROKAWA, T.CHIBA, M.FUJIWARA, R.TANAKA, H.KONDO, H.KAMMA
Regulatory SNP of TERT promoter accompanied by C228T and BRAF(V600E) is an exacerbating factor of papillary thyroid carcinoma
2. 菅間 博
特集 第36回日本内分泌外科学会総会から「内分泌腫瘍の過剰診断・過剰治療を考える」日本内分泌外科学会雑誌 第41巻 第4号
3. H.Kamma, Y.Ito, S.Suzuki, Y.Hibi, N.Suganuma, S.Kinuya, M.Kitamura, K.Horiuchi, Y.Omi, C.Tomoda, K.Kameyama, Y.Imamura, R.Ohashi, T.Kondo, T.Chiba, M.Nakashima, M.Hirokawa, I.Sugitani
Japanese general rules for the description of thyroid cancer(9th edition) established by the Japan Association of Endocrine Surgery and the Japanese Society of Thyroid Pathology Thyroid Science Volume 2, Issue 1

菅間記念病院
ピーコックナースの1年間
by ピーコックナースプロジェクトチーム

当院における、新人看護師教育を
タイムラインでご紹介します！
毎月のフォローアップ研修では
同期でたくさんのこと話し合います！
横のつながりも大切にする病院です！

集合研修 - 4月

入職してすぐは看護師のみならずリハビリや薬剤師など当院の様々な職種による座学・研修があります。
学生と現場のギャップを解消してからいざ看護現場へ！！

部署配属 - 5月

急性期・回復期・慢性期に手術室・・・
たくさんの患者さんと出会い、思い描く看護師になれるように精一杯頑張っています！
どうぞあたたかいまなざしで見守っていただけるとうれしいです。

プラクティス研修

2部署ほど研修に行き、実際の看護技術を
先輩とともに習得しています。
いざ、白衣を着て患者さんと関わらせていただきます！
緊張感にあふれていますが、笑顔と挨拶を大切にします。

3月

1年のまとめ

毎年3月には1年間の集大成として院内発表会を行います。
1度しかない新人看護師の締めくくりをし、
次へのステップアップを図っています。
多くの方の支えもあり、感謝しています。

いつも、ありがとうございます！

毎月、ピーコックナースの研修を行います。
月々によって研修内容は異なりますが、
通年で学べる過程となっています。
研修後は担当者と面談を行い不安の解消に努めています。
同期が集まる機会でもあり、お互い
活発に意見交換を行っています！

連日の炎暑でございますが、皆様いかがお過ごしでしょうか。今年も早いもので、半年が過ぎました。そして、新入職員が4月に入職して4ヶ月が経ちます。看護部では今年、新人看護職員11名を迎えました。4月の座学や実技での研修を終え、5月より部署配属となりました。各々たくさんの不安と緊張、そして大きな希望を抱き、現在先輩看護師の指導のもと、患者様が安心感を得られるよう日々寄り添い、看護に奮闘しております。

当院の新人看護職員は「ピーコックナース」という愛称があります。ピーコックとは孔雀を意味しており、知識や

経験という羽を付けて華麗に舞って欲しいという願いが込められています。ピーコックナース達の胸には、孔雀のイラストが入ったバッジが付いていますので、ぜひ当院のピーコックナース達を見つけてみてください。当院の新人看護師育成プログラムでは、毎月フォローアップ研修というものを実施しており、知識・技術の習得はもちろん、一ヶ月の振り返りや課題の明確化、教育担当者との面談を通してメンタルケアを実施しています。より良い看護が患者様に提供できるよう日々励んでいます。皆様にはぜひ、あたたかい目で見守っていただけると幸いです。

癒しのショートステイ「セレビィー」

菅間記念病院のケアセンター棟の3階にショートステイ「セレビィー」という介護保険サービス施設があるのをご存じでしょうか。

ショートステイとは、一時的に介護が必要な方が施設で短期間の宿泊滞在をしながら生活支援や介護を受けるサービスです。要支援・要介護認定を受けている方が対象となっており、家族の介護負担の軽減や利用者自身の生活の質を向上させる目的で利用することができます。



ひなまつり▶
紙芝居でひなまつりの由来を
伝えました



◀ いたむろ鯉のぼり
セレビィー恒例の外出先です
今年の鯉は少なめでした



ショートステイ「セレビィー」の 特徴



1. 短期間の利用：定期的・不定期関わらず、1泊～数週間程度の滞在が可能です。
2. 生活支援・介護：滞在中、食事や入浴、排泄の介助などのサービスを提供します。
3. 機能訓練：ぴんぴん／かんかんアカデミーのリハ職が行う個別機能訓練、介護職と一緒に行う体操や歩行運動で身体機能の維持・向上のためのサポートを行います。
4. レク・行事：毎日のレクで楽しく脳と身体を活性化、月1回の行事で季節や非日常を感じるひとときを提供します。
5. 関連施設との連携：菅間記念病院や在宅診療所、ほほえみ訪問看護ステーション、かんかん／ぴんぴんアカデミー等と密に情報共有しています。



▲ クリスマス会 ハンドベル頑張りました

「セレビィー」という名称は、人気ゲームソフトの『森や人々を癒す力を持っているキャラクター、「セレビィ」が由来となっています。この地域の利用者やご家族に癒しを感じていただけるショートステイであるように職員一同、ケアを行っています。

セレビィーでは、滞在中に季節や非日常を感じていただくために、月1回の行事にも力をいれています。施設内で盛大に行う節分やクリスマス会や、恒例の外出行事となった黒磯神社初詣、お花見、いたむろ鯉のぼり、某大型スーパーでの買物も好評を得ています。また、道の駅などで外食することもあり、「今年も来られてよかったです。来年もよろしく。」と言ってくださる利用者さんもいらっしゃいます。

要支援・要介護の認定を受けていて、セレビィーで過ごしてみたいという方がいらっしゃいましたら担当のケアマネジャーさんに相談ください。よろしくお願いします。



▲ レクリエーションの一場面
懐かしの歌謡曲を大合唱



▲ 秋の大運動会
紅白に分かれて白熱した競技が行われます



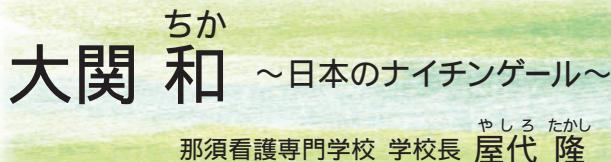
ショートステイ「セレビィー」は こんな方にオススメ

1. 自宅で生活しているが、一時的・定期的に家族の休息や用事を希望している方
2. 病院を退院後、利用者・家族ともに身体と気持ちを慣らしながら自宅に戻りたい方
3. 特別養護老人ホームなどの介護施設に入所を検討しているが、まずは短期間の利用を試したい方



那須看護専門学校

那須短期大学・看護学科（仮称）



NHK から来年四月に始まる朝の連続テレビドラマ「風、薫る」が一月末にプレス発表されました。作者は吉澤智子氏、主人公は見上愛さん。原案は田中ひかる著「明治のナイチンゲール大関和物語」だそうです。プレス発表の直後、那須看護専門学校へ新聞社や NHK から急に取材が入り、びっくりしました。NHK のカメラマンや記者さんも来られ、講義を取材、私もニュースに出ることになりました。

主人公の大関和氏は、私たちの故郷である栃木県北・旧黒羽藩の出身です。黒羽藩の家老だった大関増虎とその妻のテツの次女として生まれ、19 歳の若さで黒羽藩の次席家老であった渡辺家の夫と結婚し 2 児をもうけました。後に離婚し親権を持って、植村正久に師事し英学を学びました。1886 年（明治 19 年）に同期の鈴木雅と共にナイチンゲールの弟子であるマリア・トゥルーが設立した桜井女学校付属看護婦養成所に 1 期生として入学し、当時来日し当学校に赴任していたアグネス・ヴェッチから看護学を学んでいます。そして看護学校を卒業し、日本初の近代教育を受講した看護師の資格を取得。現在の東京大学医学部附属病院の外科婦長として迎えられ、その後、数々の業績を上げられました。そして「明治の日本のナイチンゲール」とまで言われた看護師です。生涯をかけて看護師の技能の向上と制度化に努めました。そして「報酬をあてにせず、行為それ自体が酬いなのだ」という考え方等、彼女の基本理念を受け継いでいるのが那須看護専門学校です。

私たちの看護学校では、これまで上川雄一郎前校長が、開学以来入学式、戴帽式、そして卒業式などの式辞で、しばしばナイチンゲールと共に大関和を取り上げ、学生諸氏に郷土の偉人を紹介してきました。これは、NHK のニュースでも紹介されています。最近では、大関和の研究者である大沼義男先生に依頼して、特別講義をしていただいたこともあります。キリスト教に受洗したことに裏付けられた彼女の医療に対する基本理念をこれからも大切にし、看護学生教育に当たっていきたいと考えています。

（一部ウィキペディアより引用）



当校 HP 「大関和研究室」
も併せてご覧ください。
右の QR コードよりご参照
いただけます。



▲ 桜井女学校付属看護婦養成所時代の大関和・右端
(女子学院 HP より引用、AI 処理)

那須短期大学 看護学科（仮称） 大学説明会

場所：那須看護専門学校

内容：短期大学概要説明

カリキュラムについて

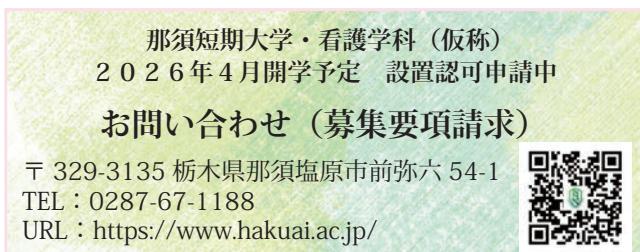
個別相談



日時：下記以外も随時対応

【14:00 ~ 16:00】 アフタヌーンコース	
7月 19日 (土)	8月 23日 (土)
8月 1日 (金)	9月 6日 (土)
8月 8日 (金)	

【18:00 ~ 20:00】 イブニングコース	
10月 3日 (金)	12月 5日 (金)
11月 7日 (金)	



菅間付属診療所

暑い日が続くようになり、熱中症が心配な時期となりました。体が暑さに慣れていない梅雨明けや急激に気温が上がった日は特に注意が必要です。普段から体を鍛え（当院併設のジム『ウェルネス NASPA』では是非！）、喉が渇いていなくても水分をこまめに摂取するようにして、楽しく夏を過ごしていきましょう。

小児科の診察日が
増えました

	月	火	水	木	金	土	日
午前	○	—	○	○	○	—	—
午後	○	○	○	○	○	○	—

小児科診察日

令和7年6月より新たに小児科医をお迎えし、月曜日から土曜日まで小児科の診療をおこなえる体制になりました。診察をご希望される方はお気軽にご相談ください。

たけした めり
竹下 英里 先生 (小児科)



6月より火曜日の午後、小児科外来を担当させていただくことになりました竹下です。診察では、思いのほか泣かせてしまうことが多いのですが、できるだけ笑顔で診察室を後にして頂けるよう心がけています。診察や育児についてご質問がありましたら気軽におたずねください。

★予防接種は完全予約制です。希望接種日の2週間前までにお電話でご予約ください。

お問い合わせ 菅間付属診療所
TEL 0287-67-1570

ウェルネス NASPA ウェルネス NASPA2



NASPA は県北地域唯一の
指定運動療法施設です

全国には厚生労働大臣が認定した健康増進施設は約370カ所、その内、健康増進を目的とした運動療法を行うことに適した270カ所が指定運動療法施設として認定されています。指定運動療法施設は、県内でわずか9カ所、県北ではウェルネス NASPA が唯一の施設です。

指定運動療法施設では、提携医療機関の医師から処方された運動療法を、健康運動指導士などの専門スタッフから指導を受けながら実施することができます。また、運動療法の処方を受けられた方は、ジムの利用料を所得税法が規定する医療費控除の対象にすることができます。国は国民の健康づくり（健康日本21）の一環として、予防医療の観点からも対策を進めています。



厚生労働省
健康増進施設認定制度に
についてのウェブページ

近年はフィットネス人気によりトレーニング施設は増え続けていますが、医師や専門スタッフのチェックを受けながら運動を行える施設は限られています。その中、ウェルネス NASPA は那須塩原市や那須町をはじめとする近隣市町において、重要な役割を担っているものと考えております。生活習慣病の改善や予防、治療後の体力回復はもちろんのこと、体重減量やアスリートのパフォーマンス向上に至るまで、様々なニーズにお応えできるよう運営しております。健康に関心のある方には、ぜひ一度お試しいただきたいと思います。



▲広々とした施設で様々なニーズに対応していきます！

お問い合わせ ウェルネス NASPA
TEL 0287-67-1577
ウェルネス NASPA II
TEL 0287-73-5936



motto はくあい

新入職員歓迎会

令和7年度新入職員歓迎会が5月31日（土）に開催されました。今年度は河野えみ子先生をはじめ33名の新入職員を迎える、毎年恒例の新入職員による余興を3チームに別れて披露して頂きました。事務部チームは自分たちの幼少期の写真からクイズを出題し一人一人のことを知ってもらえるような自己紹介を、看護部チームはジャンボリミッキーのダンスで新入職員らしい可愛らしい姿を披露し、技術部チームは各部署の先輩方と協力するクイズで部署ごとの和気あいあいとした雰囲気が感じられる余興でした。それぞれ個性あふれる余興を披露する姿を見て、共に病院を支える素晴らしい仲間が増えたことを大変嬉しく感じるとともに、これからのご活躍を楽しみしております。



▲どうぞよろしくお願ひいたします！

私の好きな風景 Vol.16

～バラの庭でひとやすみ～



5月の終わり、那須にあるコピスガーデンへ行きました。木々の緑がきらきらしていて、風が気持ちよく吹く、穏やかな午後でした。園内にはちょうどバラが咲きそろっていて、ピンクや白、赤、そして少しだけ紫の花が目にとまりました。

10月19日(日)はピンクリボンの日

日本人女性が罹るがんの中で第1位のがんをご存じですか？それは「乳がん」です。罹患率は年々増加傾向にあり、生涯に乳がんを患う女性は9人に1人と推定されます。乳がんはとても身近な病気です。しかし早期に発見すれば90%以上の方が治る病気です。「早期発見」の為には「乳がん検診を受ける」「乳房セルフチェックを行う（プレスト・アウェアネス）」が大切です。

菅間記念病院にて10月19日

(日)に行うピンクリボンは昨年度よりもパワーアップし、「子宮がん検診」も同時開催します。両検診はそれぞれ女性医師が担当し、すべて女性スタッフが担当します。お飲み物とお菓子をご用意してお待ちしております。



平日忙しい方も●●●日曜日に検診を受診いただけます！

9月1日（月）予約受付開始です。

放射線科 檜山 ひやま はるか 陽香



ふだん写真を撮るのはそんなに得意ではないのですが、この日は思わずスマホを取り出して何枚も撮ってしまいました。近くで見ると花びらの重なり方や葉の影がとてもきれいで、画面をのぞきこみながらつい夢中になってしまいます。

写真には音や香りは写らないけれど、あとから見返すとそのときの空気や気持ちがふんわりよみがえります。のんびり歩いた庭の景色とバラのやさしい香りを思い出すたびに、少し心がやわらぐような気がしました。